

第十中学校 3年 国語 慣用句・ことわざ・故事成語

授業のねらい

○「慣用句・ことわざ・故事成語」の言葉の意味を理解し、自分の表現につなげる。

I C T 活用の工夫

○テーマに沿った自身の体験や経験を「ことわざ・慣用句・故事成語」を使い、相手に説明する活動を行う。その際に、教科書や資料集だけでなく、タブレット端末も活用し調べる。

生徒の様子

○タブレット端末を使い、調べている生徒が多かった。

○調べ学習を早く終えた生徒の多くが、調べた「ことわざ・慣用句・故事成語」と同じような意味の言葉や反対の意味の言葉なども調べていた。

成果

○主体的に様々な「ことわざ・慣用句・故事成語」を主体的に調べることで、知っている言葉でも自分で思っていた意味と違っていたり、初めて知った言葉があったりするなど、生徒の新しい発見につながった。

○自分の体験や経験を説明するため、よりふさわしい「ことわざ・慣用句・故事成語」を選択することで、自分の表現の工夫につなげることができた。

課題

○自分の探したい言葉をうまく検索できない生徒がいたため、情報の調べ方は全体で確認する必要がある。

○調べ学習の検索する早さが生徒によって異なるため、多くの情報を調べた生徒と、そうでない生徒の差が大きい。

○出典の確認や情報が正しいかどうかの確認方法を指導する必要がある。